

年間指導計画表

| | | | |
|-------|--------|----------|---------------|
| 教科・科目 | 数学・数学Ⅲ | 単位数 | 4 |
| | | 学科・学年・学級 | 普通科・普通 第3学年理型 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法および積分法についての理解を深め, 知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを積極的に活用する態度を育てる。 |
| 使用教科書・副教材等 | 数研出版 数学Ⅲ 数研出版 サクシード数学Ⅲ 数研出版 チャート式基礎からの数学Ⅲ 河合出版 チョイス新標準問題集数学Ⅲ |

2 評価の観点等

| 観点 | 趣旨 | 評価方法 | 配分 |
|---------------|---|-----------------------|-----|
| a. 関心・意欲・態度 | 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法および積分法に関心をもつとともに, それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 | 観察、課題、小テスト等 | 10% |
| b. 数学的な見方や考え方 | 事象を数学的に考察し表現したり, 思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して, 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。 | 観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト等 | 20% |
| c. 数学的な技能 | 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法および積分法において, 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | 観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト等 | 10% |
| d. 知識・理解 | 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法および積分法における基本的な概念, 原理・法則などを体系的に理解し, 知識を身に付けている。 | 観察、定期考査、基礎力テスト、実力テスト等 | 60% |

3 学習計画

| 学期 | 月 | 時数 | 学習内容 | 学習のねらい | 評価の観点 | | | |
|----|---|----|------------|---|-------|---|---|---|
| | | | | | a | b | c | d |
| 前期 | 4 | 10 | 第7章 積分法 | いろいろな関数についての積分法を理解し, 活用できるようになるとともに, 定積分と和の極限の関係を理解する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 | 15 | 第8章 積分法の応用 | 積分法の有用性を認識するとともに, 図形の求積などに活用できるようにする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 6 | 14 | 第1章 複素数平面 | 複素数を複素数平面を用いて図形的に表現することで, 複素数の諸演算が平面上の図形的な性質として表されることを理解するとともに, 複素数を用いて図形の性質を考察できるようになる | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 7 | 1 | 第1回考査 | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | 計40 | | | | | |
| | 7 | 11 | 第2章 式と曲線 | 2次曲線の基本的な性質および曲線がいろいろな式で表現できることを理解し, 具体的な事象の考察に活用できるようにする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 8 | 5 | 総合演習 | 数学Ⅲの問題演習を通じて, 教科の内容理解を深めるとともに, 発展的な問題に対応できる実力を養成する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | |
|----|----------------|----------------------|------|---|---|---|---|---|
| | 9 10 | 15 1 計32 | | 第2回考査 | | ○ | ○ | ○ |
| 後期 | 10 11 12 | 10 17 1 計28 | 総合演習 | 数学Ⅲの問題演習を通じて、教科の内容理解を深めるとともに、発展的な問題に対応できる実力を養成する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | 第3回考査 | | ○ | ○ | ○ |
| | 12 1 2 | 6 2 計8 | 総合演習 | 数学Ⅲの問題演習を通じて、教科の内容理解を深めるとともに、発展的な問題に対応できる実力を養成する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |

【その他】

①予習について

- ・教科書を一通り読み、例や例題を参考にして練習問題等を解いておくこと。
- ・発展的内容の問題では、初めて見るような問題も出てくる。そのときに、いかに問題にアプローチしていくかという力が必要である。初めから解答を見ているとそのような力がつかないうえ、内容も定着しない。

②復習について

- ・授業の内容をノート中心に見直すこと。その次に、配付される対応表に従って傍用問題集や参考書を用いて、問題演習を行うこと。さらに、教科書の節末問題や章末問題、チャートの総合演習など対応表にない問題を解く。

③以下のような学習サイクルをつくること。

